科目ナンバリング	U-LAS21 20006 SO48						
授業科目名 <英訳>	ドイツ語IIＢ D2154 Intermediate German B			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 谷口　栄一		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	火2	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

【読解】人文科学分野の論文を精読しながら、ドイツ語読解力のレヴェルアップを目指す。初級の知識を重視しつつ、名詞文体や造語法に慣れてもらい、硬い文章（難解という意味ではない）が正確に読めるだけの語学力をつけてもらうよう指導する。

[到達目標]

辞書を用いて、ドイツ語で書かれた論文や新聞雑誌の記事、ウェブサイトの情報などをほぼ正確に読み、そこから情報が得られるようになること。

[授業計画と内容]

この講義はフィードバックを含む全15回で行う。
『陶酔と現実』と題された薬物の歴史に関する書物（全3巻、1982年刊行）の中から、マールブルク大学教授（当時）であったイルムガルト・ミュラー（薬学・生物学）によって書かれたコーヒーの歴史に関する１章を精読する。約1000年におよぶコーヒーの文化史に関して、語源や原産地の話から説き起こして、ヨーロッパへの伝播、嗜好品として定着していった過程、薬物としてのコーヒーをめぐる言説を中心に述べている。第１回の授業では、担当教員自作の教材を用いて、初級知識（接続法、受動態など）を整理する。第２回からテクストの精読を始める。本文を訳読し、担当教官自作のプリントを配付するなどして、文法・語法の丁寧な解説をおこなう。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、平常点（予習発表成績）50点と期末試験（授業範囲から出題）50点。

[教科書]

授業中にテクスト（Irmgard Müller: Einführung des Kaffees in Europa)、注釈書、文法プリントを配付する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）

http://www7b.biglobe.ne.jp/eiichi(受講者用サイト)

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回授業時に次回までの課題（予習）の範囲を明示する。本文の和訳（発表）ができるように予習しておくこと。期末試験は授業中にやった範囲から出題するので、復習はきちんとやっておこう。またウェブ上に受講者向けのサイトを設置しているので、有効に活用されたい。

[その他（オフィスアワー等）]